



報道機関 各位

公立大学法人大阪市立大学

**市大中之島講座 第4回「震災を考える日」の取り組み
いのち・すまい・まちを守るために
～ 東日本大震災から教えられたこと ～ を開催します**

大阪市立大学は、平成23年9月12日（月）に市大中之島講座「いのち・すまい・まちを守るために～東日本大震災から教えられたこと～」を大阪市中央公会堂にて開催します。

本学では東日本大震災における未曾有の被害に鑑み、大阪の地震防災・減災を地域の方々と一緒に考える機会とするために「震災を考える日」の取り組みを行ってきました。

今年の市大中之島講座では、第1部にて岩手県立大学の狩野徹教授による「復興への課題—生活を守るまちづくりへ—」と題した基調講演を行います。第2部のパネルディスカッションではまちづくりや住まいに関わるパネリストを招いて、「都市における防災・減災のあり方」について様々な観点から話し合います。改めて被害の実態や、復旧・復興過程で明らかになった問題について議論し、次の災害に備えるために何をなすべきかについて考えていきます。

この講座は、大学が市民のみなさんとともに震災への取り組みを考える場にしたいということから企画された講座です。多くの市民の方のご参加をお待ちしています。

記

1. 日時 平成23年9月12日（月）18時00分～20時00分（受付開始17時30分）
2. 会場 大阪市中央公会堂 3階 中集会室（大阪市北区中之島1-1-27）
3. プログラム

来賓挨拶 平松 邦夫 大阪市長

趣旨提言 西澤 良記 大阪市立大学長

《第1部》基調講演

講師 狩野 徹（岩手県立大学 社会福祉学部 教授）

「復興への課題—生活を守るまちづくりへ—」

大震災が発生して半年が経過、復興への課題が具体化する中、生活を守るまちづくりに向けて、大学が果たす役割にも触れながら、取り組みのあり方を述べます。

《第2部》パネルディスカッション

パネリスト（五十音順）

石川 永子 阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」主任研究員

狩野 徹 岩手県立大学 社会福祉学部 教授

北山 啓三 大阪市副市長

森 一彦 大阪市立大学「都市防災研究」代表者 生活科学研究科教授

コーディネーター

宮野 道雄 大阪市立大学副学長

4. 申込み方法

受講料 無料

定員 300名 「先着順」*定員を超えた場合はホームページでお知らせします。

締切 平成23年9月8日(木)

*定員に余裕がある場合は、受付期間を延長する場合があります。

ハガキまたは大学ホームページからお申込みください。電話・FAXでは受け付けておりません。

・往復ハガキ(ハガキ1枚につき1名のお申込みとなります)

必要事項 ①住所(郵便番号) ②氏名(ふりがな) ③電話番号 ④年齢 を記入
返信用に申込者の住所を記入

あて先 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

大阪市立大学 学務企画課「市大中之島講座」係

・本学HP <http://www.osaka-cu.ac.jp/>

「市大中之島講座」申込専用フォームからお申込みください。

受講申込をされた方には「受講票(又は受講許可メール)」を送付いたします。

5. 会場アクセス

大阪市中央公会堂 3階 中集会室 大阪市北区中之島1-1-27

・地下鉄御堂筋線/京阪電鉄「淀屋橋」駅下車<1>番出口から徒歩約5分

・地下鉄堺筋線/京阪電鉄「北浜」駅下車<22>号出口から徒歩約6分

・京阪電鉄中之島線「なにわ橋」駅下車<1>番出口から徒歩約1分

*公共交通機関をご利用ください

6. お問い合わせ

大阪市立大学 学務企画課

TEL06-6605-3504 FAX06-6605-3505

以上

【報道に関するお問い合わせ先】

大阪市立大学 総務課広報担当 小澤・勝井

TEL:06-6605-3570 FAX:06-6605-3572 MAIL:koho@ado.osaka-cu.ac.jp

【講師・パネラー（五十音順）】

・石川 永子（いしかわ えいこ）

阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」主任研究員
現在、宮城県本吉郡南三陸町役場震災復興推進課へ派遣中

・狩野 徹（かのう とおる）

岩手県立大学 社会福祉学部 教授

岩手県において、高齢者介護施設の提案やユニバーサルデザインの普及に取り組んでいる。今回の東日本大震災では、被災した現地へ入り込み、福祉と住民の立場から仮設住宅や仮設のまちづくりなどを提案している。

・北山 啓三（きたやま けいぞう）

大阪市副市長

大阪市住宅局理事、都市整備局長などを歴任、平成19年度より大阪市住まい公社理事長。新婚家賃補助制度、生野区南部地区密集市街地整備事業、HOPEゾーン事業制度、大阪市立住まい情報センター及び住まいのミュージアムの設立など、現在の大阪市住宅政策の骨格づくりに携わる。趣味で各地の街並みを訪ねるなど地域文化への造詣も深い。

・森 一彦（もり かずひこ）

大阪市立大学「都市防災研究」代表／生活科学研究科 教授（居住福祉計画学）

大阪市立大学重点研究「広域複合災害に向けた防災都市の再構築」代表を務める。これまで、居住福祉の観点から泉北ニュータウンの再生事業や認知症高齢者のケア環境改善など多くのプロジェクトに取り組んでいる。東日本大震災では高齢者、障がい者、こどもなど弱者を包摂する地域コミュニティと防災・復興のあり方に注目している。

・宮野 道雄（みやの みちお）

大阪市立大学副学長

これまで、阪神・淡路大震災における被災者調査を実施。東日本大震災では岩手県、宮城県の被災地現地調査を地震発生直後に実施。災害時の被災者の実情や問題点に精通。

「いのち・すまい・まちを守るために」

— 東日本大震災から教えられたこと —

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から半年が過ぎました。被災地では今も復興に向けての懸命な努力が続けられています。この大震災から、わたしたちは何を気づき、取り組むことができるのでしょうか。

今年の中中之島講座では、現地において復興への取り組みを続けられている岩手県立大学狩野徹教授による基調講演、その後、まちづくりや住まいに関わるパネリストをお招きし、「都市における防災・減災のあり方」について様々な観点から話し合います。

この講座が市民の方とともに震災への取り組みを考える場となることを切に願い、多くの方のご参加をお待ちしています。

日時 平成23年 **9月12日**(月) 18:00～20:00 (受付開始: 17:30)

会場 **大阪市中央公会堂 3階 中集会室**

プログラム

来賓挨拶 平松 邦夫 大阪市長

趣旨提言 西澤 良記 大阪市立大学長

第1部 基調講演

講師・パネリスト

狩野 徹 岩手県立大学社会福祉学部教授
岩手県において、高齢者介護施設の提案やユニバーサルデザインの普及に取り組んでいる。
今回の東日本大震災では、被災した現地へ入り込み、福祉と住民の立場から仮設住宅や仮設のまちづくりなどを提案している。

「復興への課題

— 生活を守るまちづくりへ —

大震災が発生して半年が経過、復興への課題が具体化する中、生活を守るまちづくりに向けて、大学が果たす役割にも触れながら、取り組みのあり方を述べます。

第2部 パネルディスカッション

パネリスト (五十音順)

石川 永子
阪神・淡路大震災記念
「人と防災未来センター」
主任研究員

北山 啓三
大阪市副市長

森 一彦
大阪市立大学「都市防
災研究」代表者／生活
科学研究科教授

コーディネーター

宮野 道雄
大阪市立大学副学長
これまで、阪神・淡路大震災における被災者
調査を実施。東日本大震災では岩手県、宮城
県の被災地現地調査を地震発生直後に実施。
災害時の被災者の実情や問題点に精通。

* 講座開催にあわせ、岩手県釜石市で行った本学学生によるボランティア等の写真パネルを展示します。

平成23年9月12日(月) 市大中之島講座 募集要領

お申込み方法

定員 300名「先着順」 * 定員を超えた場合はホームページでお知らせします。

締切 平成23年9月8日(木)

ハガキまたは大学ホームページから
お申込みください。

電話・FAX では受け付けておりません。

受講料無料
どなたでも参加できます。

往復ハガキ

(ハガキ1枚につき1名のお申込みとなります)

必要事項 ① 住所(郵便番号) ② 氏名(ふりがな) ③ 電話番号 ④ 年齢を記入
返信用に申込者の住所を記入

あて先 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
大阪市立大学 学務企画課「市大中之島講座」係

本学HP

<http://www.osaka-cu.ac.jp/>
「市大中之島講座」申込専用フォームからお申込みください。

受講申込をされた方には「受講票(又は受講許可メール)」を送付いたします。

会場アクセス

大阪市中央公会堂 3階 中集会室 大阪市北区中之島1-1-27

- 地下鉄御堂筋線/京阪電鉄「淀屋橋」駅下車(1)番出口から徒歩約5分
- 地下鉄堺筋線/京阪電鉄「北浜」駅下車(22)号出口から徒歩約6分
- 京阪電鉄中之島線「なにわ橋」駅下車(1)番出口から徒歩約1分

* 公共交通機関をご利用ください。



お問い合わせ

大阪市立大学 学務企画課 ☎06-6605-3504 FAX 06-6605-3505

(平日 月~金 9:00~17:00)